

# にこにこ笑顔

岐阜市立岩小学校

学校だより No. 5

平成24年7月19日

## 力をつけた1学期、そして 2学期へつなぐ夏休みに！

校長 井戸 千恵子

「だれもが笑顔で学校生活を送れる岩小学校」の1学期が終わろうとしています。各学級がそれぞれ自分たちの学級目標達成に向けて、多くの宝ものを残しています。そして、今年度の1学期は、学年で力を付け、学年が一つとなった「学年力」を実感した学期だったとも言えます。そこで、明日の終業式には、私から各学年に次の言葉を贈ろうと考えています。

1年生：いつ教室をのぞいても、全力で、歌ったり、数を数えたり、音読したりしている1年生にはいつも元気をもらいました。だから「いっしょうけんめい」という言葉を贈ります。

2年生：一つ大きくなった2年生の落ち着いた学習姿勢には驚かされます。相手の意見を大切に耳を傾けて聞く姿、話す姿、書く姿、歌う姿等……だから「学ぶ力」という言葉を贈ります。

3年生：「蛹が、チョウチョになったよ。」と、きらきらした目で話をしてくれる3年生。勉強のときも遊びの時も、いつもきらきら輝いている3年生には、「かがやき一番!」という言葉を贈ります。

4年生：高学年の仲間入りをした4年生は、自分のためだけでなく、相手のために自分ができることに懸命に取り組んでいます。この大きな成長を実感した4年生には「100歩前進」を贈ります。

5年生：「こんなによくやる子どもたちは、なかなかいいです。」と、合宿先の先生方に褒めていただいた5年生の子どもたちには、やはり心一つにした「団結」という言葉を贈りたいです。

6年生：4月最高学年になって、自分たちが下級生を引っ張っていかなければならない大きな責任を実感したことでしょう。それを乗り越え先頭に立った6年生には、「飛躍」という言葉を贈ります。

さらら：特別にどうしても贈りたいのです。自分で考え自分で動くことに挑戦したさららの子どもたちは、大きな自信を付けました。だから3人には、「自分で」という言葉がぴったりだと考えます。

こうして各学年の構えがしっかりできた1学期。そして2学期にはどんな実績を残せるのかが勝負です。自分たちで考え、自分たちによる自分たちの岩小にするためにどう動くのか、大いに楽しみにしています。

### ~夏休みへの合言葉は「2学期へつなぐ」です~

2学期は、1年のうちで一番伸びる時期だと考えます。そのために、夏休みはその力を充電する大切な時間だと考えます。楽しい思い出づくりや力をつける時間であることをもう一度考えたいです。そこで次のことをぜひ、実践してください。子どもたちのスムーズな2学期のスタートのためお願いします。

- ① 「早寝早起き朝ごはん」の生活のリズムを保障してやってください!
- ② ゲーム脳の怖さを自覚させ、ゲームの時間を必ず決めて、守らせてください。
- ③ 必ず自分が家族のために働く場を作り、自分が役立つことを実感させてやってください。
- ④ 1学期苦手だった学習内容の中で、自分が力を付けたいものにチャレンジさせてやってください。
- ⑤ わが子のよさを、声に出して、顔を見て、必ず褒めてやってください。「ぎゅっ!」付きは更にOK)
- ⑥ 家族で過ごした思い出を、必ず一つは心に残してやってください。

そして、何より大切なことは、自分の命は自分で守り、元気な笑顔で、9月3日、みんなで会えること!